

令和2年度

(第10期)

事業報告書

公益財団法人北海道中小企業総合支援センター

令和2年度事業報告

I 概況

令和2年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により厳しい状況が続
き、国の緊急経済対策などの効果から持ち直しの動きがみられたものの、経済の水準はコ
ロナ禍前を下回った状態にとどまり、新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない中、
景気回復には道半ばといえます。

一方北海道経済は、巣ごもり需要の増加によりスーパーの販売が堅調に推移するなど、
一部で持ち直しの動きがみられたものの、個人消費全体としては自粛の影響で大きく落ち
こんだほか、生産活動も一進一退の状況にあり、特に北海道の主要な産業である観光業に
あっては、来道客数が前年を大幅に下回り、関連産業も含め大きな影響を受けることにな
るなど、道内の中小企業・小規模事業者の経営を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあり
ました。

こうした中、当センターにおいても感染症拡大防止の観点から、セミナーや商談会の中
止など事業の執行に制限を受けることとなりましたが、厳しい環境下にある道内中小企業・
小規模事業者の経営の維持・安定、持続的な発展を図るため、Webを活用するなどして
各種の支援事業に取り組みました。

主なものとしましては、よろず支援拠点をはじめ総合相談窓口及び各種の専門相談窓口
や6次産業化サポートセンターに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う土日の相談
窓口の開設などにより様々な相談に対応し、中小企業・小規模事業者の経営課題の解決に
努めました。

また、新分野・新市場への進出や新事業展開及び海外特許の出願等の助成や受注機会の
確保・拡大を図る商談会の開催、道内外での展示会等への出展支援等に取り組みました。

さらに、経営基盤の強化に必要な機械設備導入への支援、地域課題解決に資する創業の
促進、早期・計画的な事業承継の準備を促す事業、水産加工関連事業者に対する継続的な
伴走型支援など、国及び道の関連施策の積極的な導入により当センターの支援機能の拡充
強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急対策支援事業にも取り組み、
中小企業・小規模事業者へのきめ細やかな支援に努めました。

II 理事会・評議員会の開催状況

1 理事会

第1回 開催日 令和2年5月27日（みなし決議）

- 議案 第1号 令和2年度事業計画及び収支予算の変更について
第2号 平成31（令和元）年度事業報告について
第3号 平成31（令和元）年度決算報告について
第4号 従たる事務所の移転について
第5号 評議員会の開催について

第2回 開催日 令和2年6月24日（みなし決議）

- 議案 第1号 常務理事の選定について

第3回 開催日 令和2年11月25日（みなし決議）

- 議案 第1号 令和2年度事業計画及び収支予算の変更について
報告事項 令和2年度事業実施状況について

第4回 開催日 令和3年3月16日（みなし決議）

- 議案 第1号 令和2年度事業計画及び収支予算の変更について
第2号 事務局規程の一部改正について
第3号 令和3年度事業計画（案）について
第4号 令和3年度収支予算（案）について
第5号 令和3年度借入金最高限度額について
第6号 令和3年度会計監査人の報酬について
第7号 評議員会の開催について

2 評議員会

定 時 開催日 令和2年6月24日

- 議 案 第1号 令和2年度 事業計画及び収支予算の変更について
第2号 平成31（令和元）年度 事業報告について
第3号 平成31（令和元）年度 決算報告について
第4号 理事の選任について
第5号 評議員の選任について

第2回 開催日 令和3年2月1日(みなし決議)

- (臨時) 議 案 第1号 評議員の選任について

第3回 開催日 令和3年3月24日

- (臨時) 議 案 第1号 令和2年度 事業計画及び収支予算の変更について
第2号 令和3年度 事業計画について
第3号 令和3年度 収支予算について
第4号 理事の報酬等の額について
第5号 理事の選任について
第6号 監事の選任について
報 告 第1号 令和3年度借入金最高限度額について

Ⅲ 事業の概要

1 経営強化の取組

(1) 総合相談窓口

経営相談及び特許、金融等の専門分野に対応する総合相談窓口を開設し、中小企業・小規模事業者から延5,987件の相談に応じました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大で訪問自粛等の影響はありましたが、北海道等が実施する各種支援制度の情報提供等に対しては、電話やオンラインを活用し相談に対応しました。

(2) よろず支援拠点事業（中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業）

コーディネーターを2名増員（27名体制）し、相談体制の強化を図るとともに、重点分野（生産性向上、新型コロナウイルス関連）等の対応や支援機関等との連携による出前相談会・ミニセミナー開催、電話やオンライン相談の活用充実に努め、11,144件の相談に対応しました。

(3) 北海道6次産業化サポート事業

「北海道6次産業化サポートセンター」において、6次産業化に取り組む農林漁業者等の相談に対応するとともに、公募により支援対象者11者を選定し、付加価値額を増加するための経営改善戦略の作成及び実行のため、6次産業化プランナーを派遣しました。

(4) 6次産業化人材育成研修会開催事業

受講申込のあった24名の農林漁業者等を対象に、ビジネスプランの作成やマーケティングなどをテーマとしたオンラインによる座学研修を4回、現地での販売インターンシップ実習を2回（うち1回は新型コロナウイルスの感染拡大によりオンラインに変更）、ワークショップ研修を1回の計7回を実施しました。

(5) 下請けかけこみ寺事業

下請事業者が抱える取引等に関する問題の解決を図るため、相談員1名が常駐する相談窓口を設置し、取引上の悩みやトラブルなど、119件の相談に対応しました。

(6) 専門家派遣事業

H A C C P 導入など経営力強化に取り組む中小企業・小規模事業者 3 社を選定し、専門家の派遣をオンラインを含め計 1 5 回行いました。

(7) 地域伴走型支援事業（がんばる中小企業応援事業）

宿泊施設の経営改善や新商品のデザイン開発、商品の販路拡大などに取り組む中小企業者 1 0 社に対し、地域の支援機関や専門家の協力を得ながら経営アドバイスをを行いました。

(8) 水産加工関連事業者生産性向上緊急対策事業

水産加工関連事業者 1 4 5 社に経営課題に対するアドバイスを行うとともに、H A C C P 導入、生産現場改善、商品開発などの課題解決に向けた専門家派遣を 3 8 社に行い、延べ 7 7 4 回の経営支援を行いました。

(9) 小規模企業者等設備貸与事業

小規模事業者等の創業及び経営革新に必要な設備導入の促進を図るため、機械設備の割賦販売 4 4 件、4 7 7, 1 2 5 千円、リースによる貸与 4 件、3 1, 6 8 0 千円を決定しました。

(10) 中小企業競争力強化促進事業

※再掲 4 - (1)

(コンサルタント等招へい支援事業、産業人材育成・確保支援事業)

(11) 中小企業等外国出願支援事業

道内中小企業・小規模企業者等の外国への特許・商標等の出願を支援するため、出願に係る計画を募集し、応募のあった 1 0 件（特許 5 件、商標 3 件、冒認対策商標 2 件）、6, 5 7 0 千円の助成を行いました。

(12) 設備導入等促進診断事業（高度化事業診断）

北海道の中小企業高度化資金貸付制度に係る条件変更 4 件の診断を行ったほか、予実管理に係る事後助言を 3 件行いました。

2 創業促進・事業承継円滑化の取組

(1) 北海道中小企業新応援ファンド事業

※再掲 4-(2) (創業促進支援事業)

(2) 北海道大学連携型起業家育成施設入居企業支援事業

「北大ビジネス・スプリング」に職員1名を派遣し、入居企業に対する経営等の助言指導等を123件行ったほか、入居企業社員のスキルアップを目的とした研修会開催や展示会等出展支援事業の企画運営などを行いました。

(3) 地域需要創造型等起業・創業促進事業(創業補助金)

本事業で支援した創業者(補助事業者)から、毎事業年度終了後に事業化状況報告の提出を求め、創業後の経営状況等の把握に努めました。

(4) 地域課題解決型起業支援事業

地域課題の解決に資するために道内で新たに起業する者を募集し、応募のあった23件のうち、17件、19,965千円の助成を行うとともに、事業の立ち上げ・継続を支援するため定期的に伴走支援を行いました。

(5) プッシュ型事業承継高度化支援事業

事業承継コーディネーター等を11名配置し、関係機関と連携して事業承継診断6,291件、事業承継計画策定支援588件を実施するなど、事業承継に関する訪問相談対応(個社支援)を行いました。

また、経営者保証コーディネーター1名を配置し、各金融機関へ支援内容を周知説明するとともに、経営者保証解除に向けた支援を81件行いました。

(6) 北のふるさと事業承継支援ファンド事業

小規模事業者の親族外の円滑な事業承継(第二創業を含む)を促進するため、事業承継ファンドによる投資先1件、15,156千円を決定しました。

また、定期的に投資先企業に対する経営モニタリングを行うとともに、2件の投資終了手続きを行いました。

3 販路開拓・取引拡大の取組

(1) 受発注情報収集提供事業

専門調査員を札幌及び関東圏にそれぞれ2名配置し、職員を含め道内外の発注企業・受注企業を延べ650社訪問し、受発注情報の収集提供を行いました。(発注案件開拓26件、取引成立件数28件)

(2) 商談会等開催事業

6月に東京都内で予定していた北東北3県との合同商談会は、新型コロナウイルス感染症リスクを踏まえ中止となりました。

なお、道内商談会については、10月に札幌市で開催しました。(商談件数164件)

(3) ビジネスマッチング支援事業

道内の創業間もない事業者3社によるベンチャービジネスプレゼン会を札幌市で開催するとともに、食品産業の商品開発や取引拡大を支援するため、地域の金融機関との共催により、道内7地域(1地域は書面開催)で食品バイヤーによる指導助言を行う食のビジネスマッチングを開催しました。(参加企業38社)

(4) 展示会等出展支援事業(がんばる中小企業応援事業)

道内外で開催された4展示会(東京国際ギフトショー、北海道技術・ビジネス交流会、食品開発展、機械要素技術展)の出展ブースを確保・提供し、出展企業15社の販路開拓を支援しました。

(5) 中小企業競争力強化促進事業

※再掲 4-(1)(マーケティング支援事業)

(6) 地域資源活用等応援事業

道内中小企業・小規模企業者等の地域資源の活用、または農商工連携等による新商品・新サービスの開発や事業化実現に向けた取組、販路開拓等を支援するため、令和3年度の事業開始に向け事業準備金を組成しました。

4 新事業創出の取組

(1) 中小企業競争力強化促進事業

北海道産業振興条例に基づき、道内中小企業・小規模事業者等の新分野・新市場への進出等を目指す製品・サービスの開発や市場開拓等の取組を支援するため、応募のあった34件のうち、24件、23,885千円の補助金を交付しました。

- ①マーケティング支援事業
- ②コンサルタント等招へい支援事業
- ③産業人材育成・確保支援事業
- ④市場対応型製品開発支援事業

(2) 北海道中小企業新応援ファンド事業

創業や道内中小企業・小規模事業者等が地域資源を活用した新事業展開、ものづくり分野での製品開発チャレンジ等の新たな産業の創出や事業化の取組を支援するため、応募のあった36件のうち、33件、22,882千円の助成金交付を決定しました。

- ①創業促進支援事業
- ②地域資源活用型事業化実現事業
- ③製品開発チャレンジ支援事業

(3) 北海道中小企業新応援ファンド（2号ファンド）事業

地域資源を活用した新事業展開の取組を支援するため、1件、1,175千円の助成金交付を決定しました。

(4) 北洋6次産業化応援ファンド事業

農林漁業者等による農林水産物の加工・販売等を促進するため、北洋銀行や6次産業化サポートセンターと連携するとともに、投資先企業に対して定期的に経営モニタリングを行いました。

5 その他の取組

(1) 新型コロナウイルス感染症対策事業

①休業協力・感染リスク低減支援金助成事業

北海道知事が行う休業要請等に協力し、感染リスクを低減する取組を行う事業者に対し、協力支援金として助成を行いました。

②経営持続化臨時特別支援金助成事業

北海道知事が行う休業要請等に協力し、「新北海道スタイル」を実践する事業者及び長期間の外出自粛や自主的な休業等により、月の売上げが前年から1/2以下等になり、「新北海道スタイル」を実践する事業者に対し、支援金として助成を行いました。

③新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業

道内に事業所等を有する中小企業者の事業の振興及び経営の安定化を図るため、「新型コロナウイルス感染症対応資金」の取扱金融機関に対して、無利子融資に伴う利子相当分5,449,919千円を助成しました。

また、令和3年度以降の道特別分に係る利子相当分に充当する基金として6,022,827千円を積立しました。

④地域リモートビジネス支援緊急対策事業

本部及び6支部に遠隔面談システムを導入し、道内各地域を遠隔で繋ぎ地域からオンラインを活用した相談対応を可能とする体制を整備しました。

(2) その他事業

①支援情報提供事業

中小企業・小規模事業者の経営等に必要な情報を提供するため、総合支援辞典や支援制度ガイドブックを発行するとともに、メールマガジンの配信、ホームページでの制度紹介をはじめ、関係機関の施策情報等をトピックスとして掲載するなどして、中小企業支援施策の情報提供に努めました。

②会員へのサービス提供

事業PR冊子の郵送などによる制度紹介及び、メールマガジンによるタイムリーな施策情報の提供に努めました。

IV 支援事業の内容

事業項目	計画	実績	比較増減	摘要
1 経営力強化の取組				
(1) 総合相談窓口 相談件数	6,000 件	5,987 件	△13 件	札幌本部、6支部 〔道南・十勝・道北・釧根・ 日胆・オホーツク〕
(2) よろず支援拠点事業 相談件数	7,000 件	11,144 件	4,144 件	札幌本部、6支部 〔道南・十勝・道北・釧根・ 日胆・オホーツク〕
出前相談会	60 回	109 回	49 回	
ミニ講習会・セミナー	12 回	10 回	△2 回	
(3) 北海道6次産業化サポート事業 支援対象件数	10 件	11 件	1 件	
(4) 6次産業化人材育成研修会 開催事業				
座学研修	4 回	4 回	- 回	
販売インターンシップ実習	2 回	2 回	- 回	
ワークショップ研修	1 回	1 回	- 回	
(5) 下請けかけこみ寺事業 相談件数	100 件	119 件	19 件	下請けかけこみ寺相談員1名体制
(6) 専門家派遣事業 (中小企業経営資源強化対策事業)				
派遣回数	3 企業 9 回	3 企業 15 回	0 企業 6 回	
(7) 地域伴走型支援事業 (がんばる中小企業応援事業)				
支援先	14 件	10 件	△4 件	
(8) 水産加工関連事業者生産性向上 緊急対策事業				
支援企業数	180 件	145 件	△35 件	
支援回数	900 回	774 回	△126 回	
(9) 小規模企業者等設備貸与事業				
割賦契約	430,000 千円	477,125 千円	47,125 千円	
リース契約	80,000 千円 42 件	31,680 千円 48 件	△48,320 千円 6 件	
※ (11) 中小企業等外国出願支援事業	6,982 千円 29 件	6,570 千円 10 件	△412 千円 △19 件	
※ (12) 設備導入等促進診断事業 (高度化事業診断)	7 件	7 件	- 件	
2 創業促進・事業承継円滑化の取組				
※ (2) 北海道大学連携型起業家育成 施設入居企業支援事業				
派遣日数	180 日	180 日	- 日	インキュベーションマネージャーを配置

※番号は「Ⅲ事業の概要」とおり。

事業項目	計画	実績	比較増減	摘要
※(3) 地域需要創造型等起業・創業促進事業(創業補助金) 管理件数	189 件	112 件	△77 件	事業廃止及び完了により減少
※(4) 地域課題解決型起業支援事業	24,000 千円	19,965 千円	△4,035 千円	
伴走支援	20 件 32 社	17 件 30 社	△3 件 △2 社	
※(5) プッシュ型事業承継高度化支援事業				
事業承継診断	8,241 件	6,291 件	△1,950 件	
事業承継計画策定	841 件	588 件	△253 回	
経営者保証解除支援	587 件	81 件	△506 件	
※(6) 北のふるさと事業承継支援ファンド事業				ファンド総額:5億円 存続期間:16年間(令和14年度末) 投資決定:1件、15,156千円
組成額	42,600 千円	0 千円	△42,600 千円	
支援件数	3 件	0 件	△3 件	
経営モニタリング	6 件	6 件	- 件	
3 販路開拓・取引拡大の取組				
(1) 受発注情報収集提供事業				
企業訪問	850 件	650 件	△200 件	
発注案件開拓	60 件	26 件	△34 件	
取引成約	50 件	28 件	△22 件	
(2) 商談会等開催事業				
道内商談会	2 回	1 回	△1 回	
道外商談会	1 回	0 回	△1 回	青森・秋田・岩手県と共催
(3) ビジネスマッチング支援事業				
プレゼン会	1 回	1 回	- 回	
ビジネスマッチング	5 回	7 回	2 回	道内信用金庫との共催
(4) 展示会等出展支援事業 (がんばる中小企業応援事業)	12 社	15 社	3 社	
4 新事業創出の取組				
(1) 中小企業競争力強化促進事業				
①マーケティング支援事業	10,000 千円	7,360 千円	△2,640 千円	
	8 件	9 件	1 件	
②コンサルタント等招へい支援事業	2,000 千円	1,430 千円	△570 千円	
	2 件	2 件	0 件	
③産業人材育成・確保支援事業	2,200 千円	1,778 千円	△422 千円	
	4 件	7 件	3 件	
④市場対応型製品開発支援事業	16,000 千円	13,317 千円	△2,683 千円	
	4 件	6 件	2 件	
(2) 北海道中小企業新応援 ファンド事業				
①創業促進支援事業	14,000 千円	10,900 千円	△3,100 千円	
	14 件	16 件	2 件	
②地域資源活用型事業化実現事業	15,000 千円	9,495 千円	△5,505 千円	
	10 件	10 件	- 件	
③製品開発チャレンジ支援事業	5,500 千円	2,487 千円	△3,013 千円	
	11 件	7 件	△4 件	

※番号は「Ⅲ事業の概要」とおり。

事業項目	計画	実績	比較増減	摘要
(3) 北海道中小企業新応援 ファンド(2号ファンド)事業	3,000 千円 2 件	1,175 千円 1 件	△1,825 千円 △1 件	ファンド総額:30億円 存続期間:15年間(令和10年3月末)
(4) 北洋6次産業化応援ファンド事業 経営モニタリング	3 件	3 件	- 件	
5 その他の取組				
(1) 休業協力・感染リスク低減 支援金助成事業				
休業協力(法人)	12,800 件	4,322 件	△8,478 件	
休業協力(個人)	11,100 件	13,865 件	2,765 件	
休業協力(酒類提供時間の短縮)	12,200 件	11,040 件	△1,160 件	
(2) 経営持続化臨時特別 支援金助成事業				
支援金A(札幌市内)	11,800 件	7,154 件	△4,646 件	
支援金A(札幌市外)	12,200 件	4,921 件	△7,279 件	
支援金B	56,000 件	69,993 件	13,993 件	
(3) 新型コロナウイルス感染症対応 資金利子補給事業				
無利子融資支援金	5,754,915 千円	5,449,919 千円	△304,996 千円	
(4) 支援情報提供事業				
メールマガジン配信	36 件	10 件	△26 件	
トピックス掲載	150 件	86 件	△64 件	
(5) 自主事業				
テストマーケティング	1 回	0 回	△1 回	

※番号は「Ⅲ事業の概要」とおり。